

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「職業訓練のための陶器制作機材供与計画」
贈与契約書署名式典

2024年1月31日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「職業訓練のための陶器制作機材供与計画」のための72,740米ドルの贈与契約署名式典が、アル・パワーディ開発研修会社で実施されました。

本計画は、首都アンマン市で陶芸教育を通して、失業者を含む社会的脆弱層に職業訓練及び就業の機会を提供している「アル・パワーディ開発研修会社」に対し、陶器制作機材（台式電気炉、丸形電気釜、スプレース、電動ろくろ）を供与することにより、ヨルダン人の若者や女性、シリア難民等の脆弱層に対する職業訓練やワークショップの実施規模を拡大することが可能となり、より多くの雇用機会創出に寄与するものです。本案件実施により、年間600人の脆弱層が職業訓練を受けることが可能となり、高い失業率の改善に資することが期待されています。

同式典では、奥山大使及びイマード・クレイス統括部長が贈与契約書に署名し、式典出席者からは日本の支援に対し、感謝の言葉が述べられました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計158件、総額1,000万米ドル以上の支援を行っています。

